

# 経 営 状 況 報 告 書

令和5年度 事業報告

令和6年度 事業計画

豊橋ステーションビル 株式会社

# I 令和5年度 事業報告

## 1 事業の経過及びその成果

当期は、安全・安心な駅ビル事業運営を実現すべく、防火防災、食品衛生等に係る安全管理、インボイス制度及び電子帳簿保存法等の法令改正への適切な対応に取り組むとともに、豊橋駅前地区の活性化に寄与するため、地元団体の活動等に積極的に協力し、また、「豊橋まちなか未来会議」へ参画し、地元事業者との連携による「すてきマーケット」等の催事の開催に取り組みました。

在来線鉄道輸送量がコロナ禍の前の平成30年と比較すると90%程度の水準にとどまる厳しい経営環境の下、営業収益を確保するため、様々な販売促進施策を実施するとともに、魅力的なテナントの誘致に努め、カルミア本館1階（6月）及び2階（8月）に新規店舗を開店させました。また、AIカメラ等の導入による人流データの活用、JR東海と連携した豊橋駅西口の駐車場でのEVカーシェア、JR東海ツアーズ跡地の再開発等にも取り組みました。

カルミア本館においては、食料品及び飲食店の売上げが前年超えとなり、カルミア本館全体での売上高は、前年比101.7%となりました。在来線改札内店舗は、鉄道利用客の増加等により前年比114.5%となり、合計の店舗売上高は、71億17百万円（前年比103.1%）となりました。直営事業においては、ギフト券販売が売上げを大きく伸ばしたほか、西口駐車場の利用の増加、宝くじ等の直売も前年並みを確保し、事業全体では前年比107.7%となりました。

経費面では、電気、ガス等の光熱費の単価減により物件費は、前年比85.8%となりましたが、JR東海グループの共通駅ビルシステムへの入替えに伴う、データ移行費用等の増加により、業務委託費が前年比128.1%となりました。なお、当期末に減資を実施し、令和5年度の外形標準課税負担約10百万円を軽減し、営業費用は、12億1百万円（前年比104.1%）となりました。

これらの結果、営業収益は12億4百万円（前年比105.5%）、営業利益は3百万円、経常利益は20百万円となりました。

Ⅱ 令和5年度 決算報告  
貸借対照表  
(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	448,231	流 動 負 債	637,987
固 定 資 産	( 1,907,889)	固 定 負 債	581,133
有形固定資産	1,893,943	負 債 合 計	1,219,121
無形固定資産	1,230	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	12,715	株 主 資 本	( 1,136,999)
		資本金	100,000
		資本剰余金	1,780,000
		利益剰余金	( △743,000)
		利益準備金	13,920
		その他利益剰余金	△756,920
		純 資 産 合 計	1,136,999
資 産 合 計	2,356,120	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,356,120

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		1,204,996
売上原価		922,333
売上総利益		282,663
販売費及び一般管理費		279,387
営業利益		3,275
営業外収益		18,960
営業外費用		2,229
経常利益		20,006
特別損失		14,521
税引前当期純利益		5,484
法人税、住民税及び事業税	977	
法人税等調整額	△8,768	△7,790
当期純利益		13,274

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本					株 主 本 計	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰 余 金				
		その 他 資 本 剰余金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計		
令和5年4月1日残高	1,880,000	—	13,920	△770,195	△756,275	1,123,724	1,123,724
当事業年度中の変動額							
減資	△1,780,000	1,780,000				—	—
当期純利益				13,274	13,274	13,274	13,274
当事業年度中の変動額合計	△1,780,000	1,780,000	—	13,274	13,274	13,274	13,274
令和6年3月31日残高	100,000	1,780,000	13,920	△756,920	△743,000	1,136,999	1,136,999

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### Ⅲ 令和6年度 事業計画

#### 1 方針

- (1) お客様、テナント様に、安心かつ信頼してご利用いただける施設を目指す
- (2) 地域のお客様に選ばれる施設を目指す
- (3) グループ会社・行政機関等と連携した地域活性化への取組み
- (4) 社員が働きやすく、働きがいを実感できるよう、職場風土を見直す

#### 2 主要施策

- (1) 営業収益の確保
- (2) 地域貢献（JR東海グループ、他社及び地元との連携）
- (3) 顧客増に向けた取組み
- (4) 業務効率化及び低コスト化の推進
- (5) 安全管理及び社内基盤の強化

### Ⅳ 令和6年度 収支予算

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

	予 算 額	前年度予算額	増 減
営業収益	1,221,723	1,196,737	24,986
営業費用	1,191,617	1,193,131	△ 1,514
営業利益	30,106	3,606	26,500
営業外収益	198	372	△ 174
営業外費用	207	305	△ 98
経常利益	30,096	3,674	26,422
特別利益	—	—	—
特別損失	19,010	53,350	△ 34,340
税引前純利益	11,096	△ 49,676	60,772
法人税等	182	977	△ 795
法人税等調整額	0	313	△ 313
当期純利益	10,903	△ 50,966	61,869

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。